令和３年度　信学会若槻保育園　「自己評価」

１．園の保育目標

＊元気にあそぼう、おいしく食べよう　＊しらべてみよう、やってみよう　＊みんなだいすき、ありがとう

２．本年度の力を入れている活動

＊散歩などの園外活動　　＊絵本の読み聞かせ　　＊異年齢活動

３．自己評価

A…十分達成されている　　B…達成されている
C…取り組んでいるが、成果が十分でない　D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している園目標、その達成のために力を入れている活動を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は園目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会や外部の研修への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートなどの実施により意見要望の把握に努めている。	A
	・本年度の目標達成のための力を入れている活動への取り組みをしている。	B
情報提供	・園解放等を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・保護者会等を通し連携して園運営を行っている。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した保育環境になるよう工夫を重ねている。	B

４．保護者(保護者アンケート)からの評価

・季節にあっていたり、子どもたちが楽しめる行事が多い。
・おたよりが紙ベースでなくなり見やすい。
・アットホームな雰囲気がよい。　　・異年齢の交流が多くあるのが良い。
・先生たちが子どもの情報を共有していて、クラス関係なく声を掛けてくれるので安心できる。
・駐車場の利用マナーの気になる保護者がいる。駐車場が増えると良い。
・登降園の際の先生への受け渡しがもう少し確実に行われると安心できる。
・給食は楽しく食べることを第一にして欲しい。

５．今年度の総合的な園評価と次年度への課題

・アットホームな園の規模や雰囲気に安心してくださっている保護者が多いので、引き続き異年齢の関りやクラスの垣根のない職員の関りを大切にしていく。
・毎日の子どもの受け渡しなどにも慣れが出てしまわないよう、確実に行うことを職員で確認し合う。
・駐車場を増やすことは現状では難しいので、利用方法の確認をしっかりと行い、みんなで気を付けて使用していけるよう働きかける。
・アプリを使用しおたよりなどを配信するようになったので、内容や見やすさを考え職員で工夫しいけるよう研修なども計画したい。
・給食だけでなく日頃の関りでも安心安全・楽しさを第一に言葉がけを意識できるよう指導方法を確認する。
・子ども主体の保育について園内研修等でも学び合いながら取り組んでいるが、保育環境の工夫等で不十分と考える職員もいたので、今後も研修し合いながら深めていく。